

空白県へのカード広報 ボランティアサロン開催中

チャイルドラインがない地域の子どもにも電話番号などを知らせるため、年間でおよそ220万枚のカードを届けています。カードの発送には、企業のご協力もいただいております。8月には東京海上HRAの社員の皆様にご参加いただき、計10万枚のカードを発送しました。また新宿の事務所ではボランティア活動に興味のある方を対象に、チャイルドラインの活動紹介とカード発送作業をセットにした「ボランティアサロン」を開催しており、毎回6名〜10名の方にご参加いただいております。



ボランティアサロンの様子(2018年8月)

ウェブサイトリニューアル <https://childline.or.jp/supporter>

大人向けのページについてデザインを一新し、あわせてクレジットカード決済でご寄付を受け付けられるようになりました。月々500円からチャイルドラインを応援いただける、マンスリーサポーターも募集を開始しました!



寄付サイト



ご支援・ご協力 ありがとうございます

●2018年3月~8月のご寄付総額
2,690,853円

子ども専用フリーダイヤルをはじめ、チャイルドライン支援センターの活動は、多くの方のご支援で成り立っています。フリーダイヤル費用はもちろん、電話やチャットで届いた子どもの声をまとめ、社会に届けるために、年間2,000万円のご寄付が必要です。子どもたちの生きやすい社会を目指し活動するチャイルドラインへの応援これからもよろしくお願いいたします。
※当団体は東京都の認定を受けています。ご寄付いただくと所得税や法人税の控除を受けることができます。

2018チャイルドライン 年次報告

活動から見える子どもたちの状況や、2017年度の活動状況をまとめた「2018チャイルドライン年次報告」が完成しました。配布をご希望の方は事務局までご連絡下さい。
※競輪の補助を受けて作成しました



フリーダイヤル&オンラインチャット 実績



2018年3月~8月	当期	前年同期比
発信数	237,109件	-9,050件
着信数	98,492件	-6,568件
着信率	41.5%	-1.1%
平均通話	5分24秒	27秒
総通話時間	8,877時間	189時間

※NTTコミュニケーションズ トラフィック調査ツールより

●オンラインチャット相談試行(2018年4月~7月)

2018年4月6日 ~7月26日	実施日数 (27日間)	平均
訪問人数	6,478人	240人/日
チャット利用人数	3,019人	112人/日
対応件数	470件	17件/日
対応時間	19,095分	41分/件

※チャットシステム「Chamo」のレポート解析結果、およびチャイルドラインデータベースより

編集後記

◇猛暑、地震そして水害と試練の夏を経て秋がやってきました。例年8月終わりから9月にかけて子どものしんどい時期として報道が盛んになり、チャイルドラインの電話番号やチャットが取り上げられる機会も多くなります。日ごろからチャイルドラインのことを知ってもらおうことで、子どもが必要とするときにつながる電話・チャットとして存在していたいものです。(T.T & S.M)



巻頭言



新代表ごあいさつ

6月2日に通常総会を開催し、2018年度の事業計画/予算が承認されました。また役員の改選があり、新役員体制がスタートしました。

赤信号に変わる前に

代表理事 松江 比佐子



今年度、共同代表の一人として代表理事に就任する運びとなりました。設立より20周年も目前に迫り、年間20万件の着信を受けるチャイルドライン。社会発信にも責任が伴っております。その代表という重責を担

えるか、甚だ心もとないものですが、どうぞよろしくお願いたします。

先日、子どもの貧困について考えるシンポジウムで湯浅誠さんのお話をお聴きしました。その中で湯浅さんがおっしゃった「信号が変わる前に」という言葉が印象に残りました。その時の話は貧困に陥った高齢者の例えでしたが、子どもたちにも当てはまると感じました。ちょっと元気がない気がするが、普通に学校に行っている、友だちとも話している。そんな子が発する、ふとしたサイン。話を聴いてもらいたいという気持ち。でも、まわりの大人も子どもも自分の抱える問題で手一杯だとしたら、その子はその気持ちを抑え込むしかない。最近の若者の自死念慮の高さ、感情を制御できずに起こる犯罪。黄色信号のうちにその気持ちをキャッチできればと感じるのです。赤信号に変わる前に。

全国のボランティアの皆様と力を合わせ、微力は無力ではない、という信念のもとに、子どもたちの気持ちを受けとめていきたいと考えております。

チャイルドラインとつくる次の社会

代表理事 梅澤 元彦



神前代表から^{たすき}襷を受け取り、今期、松江共同代表とともに「子どもが生きやすい社会」を目指して前に進んでまいります。粉骨砕身頑張りますので、今まで以上のご意見やご指導をどうぞよろしくお願いいたします。

さて、チャイルドラインには揺るぎない理念とともに、20年の歴史の上に成り立つ実績とすばらしいノウハウが豊富に蓄積されています。それらを大切にしながら、今以上にもっとスピーディに、時代に即した形に変えて、子どもたちや社会に届けていく所存です。

チャイルドラインに声を発してくる子どもたち、この活動に関わるボランティアの皆様、そしてご支援くださる方々のすべてに、世界が、そして自分自身が明るく変わっていくことを実感し、喜びを感じていただきたく思います。

子どもたちを元気にするためには、まずは私たち大人が笑顔で、健康で、元気でいたいと思います。チャイルドラインの次なる未来を、一緒に元気に作っていきましょう。



松江比佐子 Hisako MATSUE
認定NPO法人チャイルドラインとちぎ理事長
梅澤元彦 Motohiko UMEZAWA
NPO法人キープ・ママ・スマイリング理事
株式会社ムーンファクトリー代表取締役社長



発行日 : 2018年9月20日
発行 : 特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター(認定NPO)
〒162-0065 東京都新宿区住吉町8-5 曙橋コーポ2階 TEL : 03-5312-1886 FAX : 03-5312-1887
URL : <https://www.childline.or.jp/> E-mail : info@childline.or.jp





夏のキャンペーン報告

毎年、夏休み明け周辺は子どもたちの不安やストレスが増大することから、少しでも多くの子どもの気持ちを受けとめることができるよう、通常よりも受付日や時間を増やす「夏のキャンペーン」を実施しました。

夏のキャンペーン開催概要

- 子ども専用フリーダイヤル
0120-99-7777
2018年8月22日(水)～9月4日(火)
14時～23時(通常の16時～21時を延長して実施)
- オンラインチャット相談試行
<https://childline.or.jp/chat/>
2018年8月29日(水)～9月4日(火)
毎日16時～21時に受付
(通常は毎週木曜日+隔週金曜日実施)

1

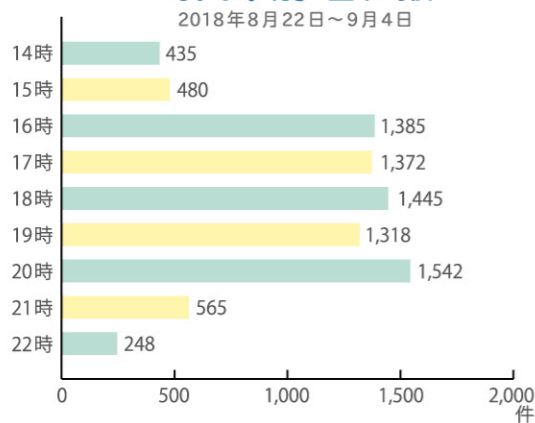
子ども専用フリーダイヤル

フリーダイヤルは8月22日(水)から9月4日までの2週間、前後に2時間延長して14時～23時に実施しました。期間中に着信した電話は8,790件で、前年同期比で1,068件(114%)多くなりました。日別では8月31日金曜日が930件と最多でした。

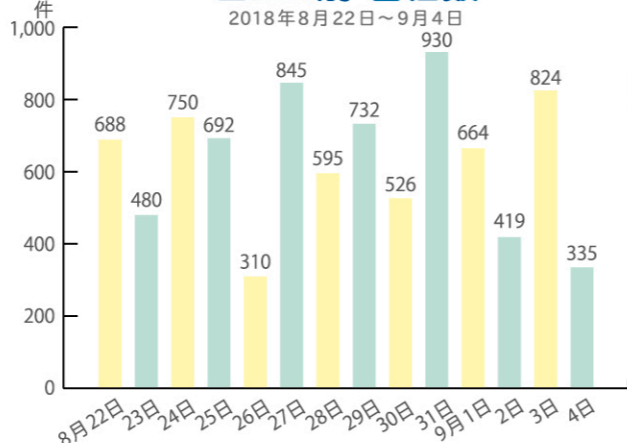
延長した14時～16時/21時～23時の着信数^{※1}は1,728件(全体の19.7%)でした。受信体制の違いもあり通常の時間帯よりも件数は少ないものの、多くの子どもが利用したことがわかりました。

※1: NTTコミュニケーションズの交換機上のデータは通話終了時間でカウントされるため、14時に着信した電話が15時に終了した場合は15時台にカウントされる。なお22時台の着信数は23時台に終了した32件を加算している。

時間帯別 着信数



日にち別 着信数



2

オンラインチャット相談試行

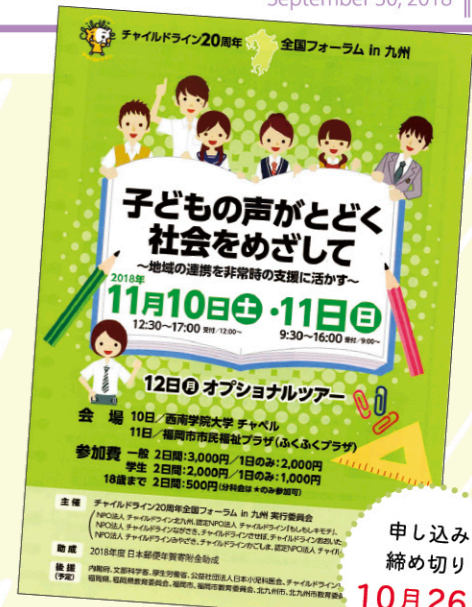
オンラインチャット相談試行は、毎週木曜日と隔週金曜日に実施していますが、8月29日～9月4日までの1週間、毎日連続で実施しました。対応した件数は369件(速報値)で、参加拠点も増えたため1日当たりの対応件数が53件と、通常の17件と比べて3倍の相談に対応することができました。

	8月29日	8月30日	8月31日	9月1日	9月2日	9月3日	9月4日	計
訪問人数	565人	505人	394人	314人	522人	350人	300人	2,950人
訪問者実数	250人	222人	209人	154人	258人	188人	146人	1,427人
チャットのべ人数	243人	207人	169人	139人	208人	156人	121人	1,243人
対応件数	53件	60件	49件	49件	52件	54件	52件	369件

20TH ANNIVERSARY

チャイルドライン20周年 全国フォーラム in九州

1998年→2018年



チャイルドラインが日本で活動を開始して、20年を迎えます。この20年、子どもの育つ環境の変化とともに、いくつかの災害を通して、子どもの声を電話で受けることの意味や新たなコミュニケーションツールの検討を見直すこともありました。今回は熊本地震(2016年)をきっかけに結末した九州のチャイルドラインが中心になり、学び合うフォーラムを企画しました。子どもの支援にたずさわる人たちが手をつなぎ、学び合いながら、情報を共有し、連携していくことを目指し、さまざまな立場の方々と、子どもたちに必要な支援は何かを共に考え合っていきたいと願っています。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

11月10日(土) 12:30~

【会場】西南学院大学チャペル

- 開会 ● 挨拶 ● オープニング ● 瑞宝太鼓
- 基調講演
「あなたの声をきかせて～WYSH教育の視点から～」木原雅子さん
- シンポジウム「辛さを抱えた子ども時代を振りかえる」

11月11日(日) 9:30~

【会場】福岡市市民福祉プラザ(ふくふくプラザ)

- 分科会
- ① 子どもの声を様々なツールで聴く
- ② 子どもとメディア・アウトリーチプログラム体験
- ③ 男子の性の課題
- ④ 子どもの権利に学ぶ
- ⑤ 非常時の子ども支援
- ⑥ 学校と子どもたち
- ⑦ SDGsとチャイルドライン
- ⑧ メディアの加害・被害
- ⑨ 性の多様性
- ⑩ 子どもの危機に向き合う
- ⑪ 経済優先社会と子どもたち
- ⑫ 子ども参画社会に向けて

申し込み締め切り 10月26日

1ページよりつづき

2018年度

役員体制 および事業計画



事業計画概要

<チャイルドライン事業>

- 統一番号フリーダイヤルの実施
- エリア会議、全国運営者会議
- オンライン相談試行
- アウトリーチプログラム
- チャイルドライン20周年 全国フォーラムin九州 など

<アドヴォカシー(社会発信)事業>

- 子ども向け広報
- 国や他機関との連携、協働
- 子どもの貧困に関する社会調査
- 被災地支援 など

役員体制

- 代表理事
松江 比佐子 認定NPO法人チャイルドラインとちぎ 理事長
梅澤 元彦 NPO法人キープ・ママ・スマイリング 理事
株式会社ムーンファクトリー 代表取締役社長
- 常務理事
高橋 弘恵 NPO法人チャイルドラインあいち 専務理事
中村 尊 フリースクール全国ネットワーク 理事
NPO法人チャイルドラインながさき 共同代表
- 理事
青木 高 公益社団法人日本フィランソロピー協会 事務局長
金子 由美子 NPO法人さいたまユースサポートネット 副代表
佐藤 香代 弁護士/東京弁護士会子どもの権利委員会 委員
関戸 真紀 いずみこどもAID 代表
田野 浩美 せたがやチャイルドライン 代表
水口 良子 認定NPO法人チャイルドラインほっかいどう 常務理事
- 監事
児玉 勇二 弁護士
武 千晴 社会福祉士、精神保健福祉士、博士(教育学)、
日本女子大学学術研究員